



発行：風の松原に守られる人々の会 事務局：〒016-0805 秋田県能代市大手町3-38 成田憲太郎方 電話0185-52-6316

会設立からの歩み

今号には平成23年8月から24年3月までの活動を記録。見出し番号は創刊号からの通し番号です。

168 文化会館でパネル展開催



8月28日(日)本会会員の今立善子さん脚本・演出の第9回能代ミュージカル・キッズ公演「風の松原三百年物語」が能代文化会館で上演された。本会はそれに協賛して<近代「風の松原」

のできるまで>のパネル展示を行った。

169 県有林低木除去作業実施

9月8日(水)9:00～ロケットセンターへ向かう道路の路肩の低木を除去する「県有林低木除去作業」と、同じ道路の海側で6月から実施されてきた「林床改良作業」とを同時に行った。平日だったためか参加者は13名だった。



170 風の松原先人植栽300年祭

9月25日(日)「風の松原先人植栽300年祭」の会場入口には横断幕がかかり、ステージは午前10時に湊城西小学校



6年生合唱「ぼくらの松原」で幕を開けた。記念標語表彰、愛慈幼稚園児の演技や湊城南小学校スクールバンド部の演奏、第四小学校の合唱、能代一中吹奏楽部の演奏、レガートによるオカリナ演奏、能代

べらぼう太鼓の演奏などが行われた。能代ミュージカル・キッズは「風の松原三百年物語」の短縮版を上演した。

広場内では本会のパネル展<近代「風の松原」のできるまで>が設置されたほか、鶴形そばなどの<おらほのグルメ市>の屋台が並んだ。

林内ではクロマツの記念植樹や松原ガイドの会による自然散策「松原ぐるり一周」、オリエンテーリング大会などが行われた。このほかサン・ウッド能代では写真展や木工教室も行われた。

171 海岸林再生植樹祭とフォーラム



10月22日(日)国際森林年の一環として由利本荘市で海岸林再生植樹祭とフォーラムが行われた。午前10時から道川海岸のJR海岸林で海岸林再生植樹祭が行われ、本会から参加した5名も砂まみれになって植樹に精を出した。





午後からは由利本荘市の岩城総合体育館に移動し「2011国際森林年海岸林再生フォーラム」に参加、海岸林保全活動報告会では安井昭彦会長が「風の松原に守られる人々の会の活動について」という題で発表した。



他の報告は「炭焼きで夕日の松原守り隊の活動について」と「TDK社友会環境同好会の活動について」の2つ。

パネルディスカッションは秋田県立大の蒔田教授がコーディネーターとなり、森林技術センター金子部長と活動報告者3名がパネラーとなって意見を発表した。

パネルディスカッションは秋田県立大の蒔田教授がコーディネーターとなり、森林技術センター金子部長と活動報告者3名がパネラーとなって意見を発表した。

172 会員研修会「万里の松原」視察

本会は今年10年目を迎え、事業計画で予定していた会員研修会を酒田市「万里の松原」視察とし、10月29日に実施した。

能代市のマイクロバスを利用して会員20名が午前8時に文化会館前を出発し、サン・ウッド



経由で酒田市に向かった。酒田には予定時刻に15分程遅れて午前11時15分ころ到着。武道館駐車場には万里の松原に親しむ会の会員10人ほどが出迎えてくれた。駐車場脇のクロマツは立派だった。こんなに枝の茂ったクロマツは日光が十分に当たっている



ためだと思う。

右の写真の道は、かつて奥の細道の旅で芭蕉が通ったところ。万里の松原に親しむ会が10周年記念事業の一環として関係機関等の協力を得て整備したものだそうです。

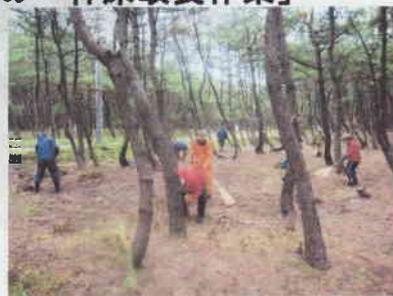
右の写真は23年春に植林したばかりのクロマツ。空き地があれば、積極的に植林しているという。

右の写真(上から3枚目)は、林床まで日光が差し込んでいる様子がはっきりわかる。集合写真は万里の松原交流施設フォレストパルの前で、参加者全員で撮影。



173 今年度最後の「林床改良作業」

23年11月15日(火)今年度最後の海岸保安林内の林床改良作業が行われた。参加者は13名。こまじやりで松葉集めに精を出した。



174 10周年記念「視察会」「講演会」「懇親会」

11月22日(火)10周年最後の事業として午後1時30分から「松原視察会」(15名参加)、午後3時からサン・ウッドで講演「風の松原と私」(講師浅野ミヤさん、30名参加)、午後5時からプラザ都で「懇親会」(20名参加)を開催した。(紙面不足で写真は次号掲載)

175 今年度最後の行事「樹幹注入作業」

24年3月1日(木)、今年度最後の事業である松くい虫予防剤樹幹注入作業を実施した。18名参加。この内容についても次号で詳しく報告したい。